

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	認定職業訓練助成事業費(復興関連事業)	担当部局庁	職業能力開発局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度(第1次補正予算)	担当課室	育成支援課	育成支援課長 山本徹弥			
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定	施策名	II-1-4 多様な職業能力開発の機会を確保する				
根拠法令(具体的な条項も記載)	雇用保険法第63号第1項第1号 雇用保険法施行規則第121条、123条	関係する計画、通知等	第9次職業能力開発基本計画(平成23年厚生労働省告示第143号)				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災により、被災した認定職業訓練校の復旧に係る施設設備整備費に対する国庫補助率を引き上げ、早期の復旧を図る。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	被災した認定職業訓練施設に対する補助金の国の負担割合の上限を1/3から1/2へ引き上げ、早期の復旧を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算				114	45
		補正予算			313		
		繰越し等					
	計			313	114	45	
	執行額			44			
執行率(%)			14.1				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)
	(施設復旧のための経費であり、成果指標設定になじまない)	成果実績	%			-	-
		達成度	%			-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	復旧施設数	活動実績(当初見込み)				9	-
						(-)	
単位当たりコスト	4,901,444(円/復旧施設1人あたり)	算出根拠	平成23年度執行額/復旧施設数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	(目)職業能力開発校設備整備費等補助金	114	45	25年度に復旧工事が見込まれる施設について所要額を計上。			
	計	114	45				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<p>認定職業訓練制度は、公共職業訓練に準じた水準の訓練体制を企業等に整備することにより、民間の活力を活かして労働者の能力開発を図り、企業の競争力や労働者の定着率の向上はもとより、我が国全体の人的資本の強化に資するものであるため、認定職業訓練に対し、国が経費を助成する本事業の優先順位は高い。</p> <p>また、雇用保険法第63条第1項第1号に、認定職業訓練の行う者に対して国が必要な助成を行うことが規定されていることから、本事業は国が実施すべき事業である。</p> <p>土地取得などの理由により、平成23年度中に着工できない施設があったため不用率が大きくなっている。</p>
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<p>訓練施設・設備の所有者が認定職業訓練のため支出した経費の一部を都道府県が助成し、都道府県が助成した経費の一部を国が助成していることから、資金の流れは合理的であり、かつ、受益者との負担関係は妥当である。</p> <p>また、補助対象経費については、算定基準を定め、真に必要なものに限定している。</p>
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<p>本事業により整備された施設は、認定職業訓練実施のため、十分に活用されている。</p>
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	※類似事業名とその所管部局・府省名 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業は、上記のとおり、概ね適切に運営されているが、24年度予算執行にあたっては、対象県との連絡を密にし、適切に復旧が進められ</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>本事業については、事業実績を勘案・検証した上で、効果的・効率的な事業運営に努めながら、執行状況を予算要求に反映していくこと。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>平成23年度の執行状況を踏まえ、要求額を縮減した。(反映額: ▲69百万円)</p>		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	774	平成23年行政事業レビュー	700

(平成23年度執行ベース)

厚生労働省  
44百万円

〔認定職業訓練を行う事業主等に対して助成又は援助を行う都道府県に対して、その経費の一部を補助する  
【都道府県に対する補助 補助率3/4、負担割合1/2上限】〕



【申請による補助】

A. 都道府県(4)  
44百万円

〔認定職業訓練を行う事業主等に対して助成又は援助を行う  
【各都道府県独自の補助率、経費の2/3上限】〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補  
足する)(単位:百万円)

A.都道府県(岩手県)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
補助金	認定職業訓練施設設備の復旧経費の補助	23			
計		23	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.都道府県

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	岩手県	認定職業訓練施設設備の復旧経費の補助	23		
2	福島県	認定職業訓練施設設備の復旧経費の補助	18		
3	茨城県	認定職業訓練施設設備の復旧経費の補助	2		
4	栃木県	認定職業訓練施設設備の復旧経費の補助	0.8		